

#### 4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等

##### 成人市中肺炎の重症度別患者数等の集計方法と定義

※ 入院契機病名および最も医療資源を投入した傷病名が肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎であって、さらにその中でもICD-10コード(注2\*)がJ13～J18で始まるものに限定し、市中肺炎(注3\*)の患者さんが対象となります。

(注1\*)肺炎の重症度とは

重症度の判定【引用元】:成人市中肺炎診療ガイドライン 日本呼吸器学会「呼吸器感染症に関するガイドライン」

(注2\*) ICD10とは「疾病及び関連保健問題の国際統計分類:International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems(以下「ICD」と略)」とは、

異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関(WHO)が作成した分類である。【引用元:厚生労働省HP 疾病、傷害及び死因の統計分類】

(注3\*)市中肺炎とは

通常の社会生活を送っている中で発症した肺炎です。通常はインフルエンザ等のウイルスによるものも含まれますが、本指標では除外します。

##### 使用する指標

- 1.男性70歳以上, 女性75歳以上
- 2.BUN 21mg/dLまたは脱水あり
- 3.SpO<sub>2</sub> 90%以下(PaO<sub>2</sub>60Torr以下)
- 4.意識障害
- 5.血圧(収縮期)90mmHg以下

##### 重症度分類

軽症: 上記5つの何れも満たさないもの

中等症: 上記項目の1つまたは2つを有するもの

重症: 上記項目の3つを有するもの

超重症: 上記項目の4つまたは5つを有するもの

ただしショックがあれば1項目のみでも超重症とする

|     | 患者数 | 平均在院日数 | 平均年齢 |
|-----|-----|--------|------|
| 軽症  | 36  | 12.06  | 53.9 |
| 中等症 | 92  | 14.30  | 70.9 |
| 重症  | 26  | 16.65  | 84.0 |
| 超重症 | 10  | 22.80  | 80.4 |
| 不明  | 0   | 0.00   | 0.0  |